

## 令和2年度自己評価

令和2年度は新型コロナウイルス拡大防止のため、3月初旬予定の評価委員会開催を見送りました。

以下園内自己評価とりまとめになります。

### 本年度重点的に取り組む目標と計画

- ・新型コロナウイルス感染予防対策（年間諸行事の見直し、国、道、市によるガイドライン尊守）
- ・環境衛生の徹底、遊具の点検と防災装備
- ・活動教育（園庭遊び、めざましあそび、科学あそび、英語あそび等）
- ・体験保育（菜園づくり、食育、地引網、植物・動物観察、防災訓練）
- ・カリキュラムマネジメントの改善～新型コロナウイルス感染症に対応
- ・職員の協働性の実践、脂質向上に向けた保育要件研修（処遇改善研修）と自主研修・単位習得講習
- ・働き方の改善と職務の協働性の確立、教職員配置の充実と専任化
- ・インクルーシブ保育の実践と研修
- ・創立55周年記念事業の1年延期と事業の見直し

### 重点目標で改善と評価できること

- ・かつてないパンデミックによる保護者や園児の不安に対し、園として感染対策を講じながら向き合うことができた。教材配布、電話による対話、ホームページを利用した動画公開などアイデアを出しあった。
- ・学校再開ガイドラインに基づき、園長の方針に則って、新型コロナウイルス対策を進めていった。「感染源を絶つこと」「感染経路を絶つこと」「抵抗力を高めること」の感染拡大防止3原則を守り、職員が一丸となって園の再開、保育内容の見直し、行事に対する取り組みを行った。再開後は、子どもたちの様子を観察し、2カ月に及ぶ外出自粛生活で失われた、体力や集団生活における基本的な生活習慣の回復などの向上にじっくりと取り組んできた。
- ・環境の衛生については、園だけではなく保護者からの多大なる協力のもと管理することができた。ICTの導入により、保護者への感染予防協力依頼や、PCR受験、濃厚接触状況の伝達、体調不良の把握などをスムーズに行うことができた。
- ・前期の活動については、蜜を避けるためカリキュラムを大幅に変更して、外遊びや体を動かすあそび、園バスを使用する園外保育を中心に活動を進め、秋に延期していた運動会には保護者に成長した姿を見てもらう事ができた。後期は集団の中で落ち着いて活動を行えるよう、個々の成長段階や課題を見極め、適切な援助を行うよう心掛けた。科学遊びにじっくり取り組むことで、身近な環境に興味を持ち、主体的にかかわる時間を持つことができた。

### 重点項目で課題となる事項について

- ・活動教育において身近な教材の研究を深めさらに活用していきたい。
- ・インクルーシブ教育の質向上のための、各職員の特別支援の実践研修や外部研修の活用、人材確保。
- ・職員一人一人が健康で、自己実現の目標に向かえるよう同僚性を高める園内研修やチームで保育を

支え合えるような環境づくりの努力を継続していく。

#### 総合評価について

B評価…ほぼ目的が達成されている。(全教職員の自己評価平均値)

#### 幼稚園型認定こども園として運営すべき今後の課題

認定こども園に移行して5年経過し、2号認定児に対応する体制づくりが課題となっていたが、配置が大体1回転し、相互理解が深まってきた。1号と2号の子どもたちのバランスによって勤務体制の調整ができるよう人材確保や新人教育などの課題がある。

次年度も引き続き集団での感染拡大予防を念頭に置きながらも、子ども達に必要な保育活動を保障・継続できるよう、職員で連携して保育に臨みたい。

#### 関係者評価について

1年間の取り組みや評価について、評価委員に報告しており、B評価についてご理解いただいております。